

2007年7月4日

株主のみなさまへ

(株)マルハグループ本社

「IR Report 2007」の一部訂正とお詫び

株主のみなさまにおかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご支援、ご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、株主総会終了後に決議通知と同封でご送付申し上げました、「IR Report 2007」
(第3期グループ報告書 2006年4月1日～2007年3月31日)の内容につきまして、誤
っている箇所があることが判明いたしました。

株主のみなさまにはご迷惑をおかけする結果となり、誠に申し訳なく心より深くお詫び
申し上げます。

つきましては、以下のとおり訂正いたしたく存じますので、何卒ご了解のほどお願い申
し上げます。

なお、当社ホームページには、以下の内容を反映させた、訂正後のPDFデータを掲載し
ておりますので、ご参照いただきたいと存じます。

今後ともご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

訂正内容 （訂正箇所は黄色帯で示しております。）

15 ページ： 「連結キャッシュ・フロー計算書」(要約)

【訂正前】

科目	当期	前期
	2006年4月1日から 2007年3月31日まで	2006年4月1日から 2007年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,113	3,531
投資活動によるキャッシュ・フロー	△13,725	12,774
財務活動によるキャッシュ・フロー	△13,142	△14,296
現金及び現金同等物に係る換算差額	64	225
現金及び現金同等物の増減額	△23,690	2,234
現金及び現金同等物の期首残高	37,298	35,063
新規連結による現金及び現金同等物増加額	746	—
現金及び現金同等物の期末残高	14,355	37,298



【訂正後】

科目	当期	前期
	2006年4月1日から 2007年3月31日まで	2006年4月1日から 2007年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,821	3,531
投資活動によるキャッシュ・フロー	△13,486	12,774
財務活動によるキャッシュ・フロー	△13,090	△14,296
現金及び現金同等物に係る換算差額	64	225
現金及び現金同等物の増減額	△23,690	2,234
現金及び現金同等物の期首残高	37,298	35,063
新規連結による現金及び現金同等物増加額	746	—
現金及び現金同等物の期末残高	14,355	37,298

16ページ： POINT 4 <キャッシュ・フローについて>

【訂正前】

- ・営業活動によって得られたキャッシュ・フローは3,113百万円となり、前期に比べ418百万円の減少となりました。これは、主に期末日が休日となり売上債権が増加したことによるものです。
- ・投資活動によって使用されたキャッシュ・フローは、投資有価証券の取得、新規連結子会社への投資、並びに設備投資などで13,725百万円となり、前期に比べ26,499百万円増加いたしました。
- ・財務活動によって使用されたキャッシュ・フローは、社債の発行による資金の取得があるものの、優先株式の消却を目的とした自己株式の取得、並びに借入金の削減に注力したことなどで13,142百万円となり、前期に比べ1,154百万円減少しました。



【訂正後】

- ・営業活動によって得られたキャッシュ・フローは2,821百万円となり、前期に比べ710百万円の減少となりました。これは、主に期末日が休日となり売上債権が増加したことによるものです。
- ・投資活動によって使用されたキャッシュ・フローは、投資有価証券の取得、新規連結子会社への投資、並びに設備投資などで13,486百万円となり、前期に比べ26,260百万円増加いたしました。
- ・財務活動によって使用されたキャッシュ・フローは、社債の発行による資金の取得があるものの、優先株式の消却を目的とした自己株式の取得、並びに借入金の削減に注力したことなどで13,090百万円となり、前期に比べ1,206百万円減少しました。

以 上

【お問い合わせ】

(株)マルハグループ本社 広報・IRグループ
TEL : 0303216-0821 FAX : 03-3216-0342